

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 2 関東地方整備局堤防植生管理等検討業務
業 務 概 要	本業務は、堤防植生の実態を踏まえた効率的な除草や I C T を活用した除草工事のあり方を検討するとともに、適切な河道の維持管理を実施するための河道内樹木伐採及び堆積土砂撤去手法等について検討するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 土井 弘次 埼玉県さいたま市中央区新都心 2 番地 1
契 約 年 月 日	令和 3 年 6 月 1 5 日
契 約 業 者 名	R 2 関東地方整備局堤防植生管理等検討業務河川財団・建設環境研究所設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋小伝馬町 1 1 番 9 号
契 約 金 額	¥ 2 5, 2 2 3, 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	¥ 2 5, 6 0 8, 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、「堤防植生に応じた効率的な除草方法に関する留意点について」などを含めた技術提案を求め、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式により選定を行った。 R 2 関東地方整備局堤防植生管理等検討業務河川財団・建設環境研究所設計共同体は、技術提案書において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	国土交通省関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 3 年 6 月 1 6 日
履 行 期 間 (至)	令和 4 年 1 月 3 1 日
備 考	会計法 2 9 条の 3 第 4 項 予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。